

会 報

＜第368号＞

次代を築くヒューマンネットワーク

一般社団法人兵庫建築会



発行日:平成28年6月1日

| | | |
|----|-------------------------|---------|
| 目次 | ◎ 平成28年度定時総会・会員交流会の開催報告 | ・・・1～3頁 |
| | 平成28年度役員等一覧表 | ・・・4頁 |
| | ◎ 定時総会・交流会写真集 | ・・・5～6頁 |
| | ◎ お知らせ | ・・・6頁 |
| | ◎ 広報コーナー 『フェニックス共済』 | ・・・7頁 |

『歴史、文化、産業遺産を活かした欧州のまちづくり』は誌面の都合で休載し、7月号から再開します。

平成28年度定時総会・会員交流会の開催報告

平成28年度定時総会・会員交流会が、さる5月23日（月）に神戸三宮東急REIホテルにおいて107名の出席者により盛大に開催されました。その概要を報告します。

＜定時総会＞ 17時開会

○ 瀬戸本会長の開会挨拶（要旨別掲）の後、事務局より議決権会員出席数44名、委任状7名で定足数を満たしているため総会が成立する旨の報告があり、会長を議長として、議案審議を行いました。提出議案は次のとおりで、順次審議のうえ全議案について承認されました。



総会審議

| | |
|-------|------------------------------|
| 報告事項1 | 平成28年度事業計画について |
| 報告事項2 | 平成28年度収支予算について |
| 報告事項3 | 平成28年度事業計画（創立70周年記念事業）について |
| 報告事項4 | 平成28年度収支予算（創立70周年記念事業会計）について |
| 報告事項5 | 平成27年度事業報告について |
| 第1号議案 | 平成27年度決算（案）について |
| 第2号議案 | 平成28年度役員を選任（案）について |

○ 役員を選任について

役員を選任結果については、4ページに役員一覧表を掲載しました。

改めて会長に選任された瀬戸本淳氏より新役員を代表して、

「三度会長に選任いただき光栄に思うと同時に責任を感じている。現在、組織の充実が必要とされる時期であり、役員一同知恵を出し合い対処していきたい。殊に70周年事業の遂行には、会員皆様の支援、協力を得ながら進めてまいりたい。記念事業推進協力金の負担についてご理解をお願いする。」

との就任の挨拶がされました。

○ 閉会挨拶

総会の閉会に当たり、川端副会長から、「2年間、皆様のご協力により副会長を務められたこと感謝したい。熊本地震の衝撃や東南海・南海地震の恐怖など不安定な要素が数多くあり、このような社会情勢の中、建築会が一層交流の輪を広げ、業界の発展と社会貢献に寄与することが望まれている。70周年を機に、益々の発展と皆様のご活躍を祈念する。」との挨拶がありました。

○ 事業報告の訂正について

報告事項5の「平成27年度事業報告について」の「3 会員の表彰」「(1) 叙勲」の項中、次のとおり記載漏れがありました。謹んで訂正しお詫び申し上げます。

(1) 叙勲

平成27年11月3日

旭日双光章 柄谷順一郎氏 (株)柄谷工務店



川端副会長閉会挨拶

総会開会挨拶（要旨）

会長 瀬戸本 淳

平成28年度定時総会の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。



瀬戸本会長

今年も大型のゴールデンウィークでしたが、建設会社の新社員の頃は、この期間は現場研修のため、1日も休めず、建設業の現場の大変さを思い知らされました。

4年後の今年は思い切って、イタリアへ出向きましたが、シチリアでも、イタリア南部の田舎でも、真っ赤なポピーの花の中で、風力発電の大きな羽根が

回っているのが目につきました。イタリアも地震の多い国で、東日本大震災での福島原発事故を見て、国民投票で9割の人々が原発にノーを付きました。

4基の原発は、現在、解体作業中で、代替エネルギーの開発が進められ、電気代が高くなり、省エネ意識は高まっています。

3. 11の大震災で、イタリアは変わりましたが、日本は変わらなかったという話です。

熊本地震から1ヶ月が経ちました。

毎年の如く繰り返される大水害や火山活動の活発化に危惧を感じてきましたが、熊本地震では、巨大地震の連続発生や断層の連鎖的な破壊に新たな脅威が感じられ、自然のエネルギーの前には余りにも脆弱であった建築物等に、その関係者として無力感・虚しさを感じているところです。

この間、復旧に向けて懸命に働く地元の土木・建築関係の人たちに敬意を表するとともに、心よりお見舞い申し上げます。

熊本地震は、人々に快適な生活の場と手段を提供する立場の私達に対する新たな課題であり、この建築会のアーキテクチュラル・ヒューマンネットワークの連携なども問題解決の手法を生み出す原動力として役立つものと改めて考えているところです。また、「住まい再建のしくみ」フェニックス共済の普及にも協力し、皆様とともに様々な考察を深めていきたいと考えます。

本日は、通常予算に加え、70周年記念事業を展開する予算について報告するとともに、議決案件として「平成27年度決算」及び「役員改選」を上程しています。十分のご審議をお願いします。

《会員交流会》 18時開宴

○ 瀬戸本会長から、交流会の開催に先立ち、ご来賓に、「総会での役員改選の結果、再任7名と新任5名の12名を選任いただき、三度会長に選出いただいた。そして、石田邦夫副会長に加え、新たに大町勝、大木弘恵副会長に就任いただき、理事8名と共に会の隆盛に努める。創立70周年という大変重要な年にあたり、来賓の皆様の倍旧のご支援をお願いする。」との就任挨拶があり、交流会が開始されました。

○ 先ず石田副会長からの交流会開催の挨拶（要旨別掲）があり、続いてご多忙のスケジュールをぬって駆けつけていただいた荒木一聡副知事の祝辞、続いて兵庫県まちづくり部長小南正雄氏、神戸市住宅都市局技術管理部長井垣昭人氏に祝辞を頂戴し、兵庫県県土整備部県土企画局長衣笠達也氏の乾杯のご発声により祝宴に入りました。

会員交流会 開会挨拶（要旨）

副会長 石田 邦夫

荒木兵庫県副知事様をはじめご来賓の皆様には、ご多忙の中ご臨席を賜りありがとうございます。

建築会は、1947年3月に誕生。当時は戦後の混乱期で、全国の主要都市は壊滅状態で焦土と化していました。建設資材の供給不足もあり復興事業は難航し、配給制の建設資材を建設会社に割り振る膨大な事務を支援する民間組織として創設されたのが建築会でした。その後、建設資材不足も解消され、建築会もその役割を終え、現在、兵庫県建築会を除いて他では残っていません。

兵庫県の場合、建築関連の唯一の団体として、また行政とのパイプ役として残されたと考えますが、『談論すれども討論せず』というユニークな不文律のもと、会員間のコミュニケーションと親睦をより深めていきたいと思えます。

今年度は、誕生70年の節目を迎え、各種記念行事を行う予定で、先人の努力と偉業に敬意を表しながら、成功裏に導きたいと考えます。

つきましては、兵庫県建築会が誇る会員間のヒューマンネットワークの一層の緊密化とともに、来賓の皆様方のご支援をお願いして、会員交流会開会の挨拶とさせていただきます。



石田副会長

祝 辞(要旨)

兵庫県副知事 荒木 一聡氏

平成 28 年度定時総会おめでとうございます。
石田副会長のご挨拶にございましたが、このような素晴らしい会に私ども、県庁、神戸市役所からもお招きいただきありがとうございます。



荒木副知事

戦後間もなく始められた70年ですので、そんなに簡単な取り組みではなく、都道府県でも唯一残る会ということで、本当に素晴らしいことと思います。そういった歴史と伝統のある会だからこそ阪神淡路大震災への取り組みやらその後の震災

にもご支援をいただけてきました。

70周年を迎えられ、私ども県政と一緒にあって、発展をしたいと思っています。簡単ですがお礼のご挨拶に代えさせていただきます。

祝 辞(要旨)

兵庫県まちづくり部長 小南 正雄氏

平素はまちづくり行政に対してご尽力、ご協力いただき皆様にはお礼申し上げます。

熊本地震の被害は住宅だけでも全壊で 1 万棟を超え、庁舎、病院、避難所であるべき施設までもが被災しました。本県もこれからの 10 年建築物の耐震促進計画を見直し、次のスタートを切るころでした。今の状況をみると南海トラフだけではなく、震度 7 クラスの地震がいつでもどこでも起こりうることから、一層強力に進めていく必要があると考えています。会員の皆様には、強力的なフォローをお願いします。

今年から、地域創生元年の対策として、まちづくり行政では、「地域の元気づくり」としての視点から 2 つの取り組みを考えています。

一つは、「ニュータウンの再生」。ニュータウンは、30 年経過し、急激な高齢化、施設の老朽化が進み、



小南部長

今後空き家の増加、地域の空洞化が指摘されている。

もう一つは「にぎわいのあった中心の商店街の再生」。商工行政による商店街の再生に、まちづくり行政からも周辺のまちづくりも併せて再生していくという取り組みを行っていききたい。

オーダーメイドで地道で息の長い取り組みを行っていききたい。華々しさはないが、これまで作ってきた街を出来るだけ良いストックに高めて、次の世代に引き継いでいききたい。そのためにも会員の皆様のご協力をお願いします。

最後になりましたが、本会の益々の発展とご参集の皆様のご健勝記念してご挨拶とさせていただきます。

祝 辞(要旨)

神戸市住宅都市局建築技術部長
井垣 昭人氏

定時総会のご成功おめでとうございます。

熊本地震の被災者にはお悔みと心からお見舞いを申し上げます。また神戸市はおなじ地震の被害を受けた被災を受けた市として、地震発生直後から支援を行ってきましたが、これからも生きの長い支援を行いたいと思います。

新田次郎の「孤高の人」に学生時代に触発された登山ですが、最近六甲山の山歩きを再開しました。特に好きな景色は、六甲ケーブル山上駅の東隣の天覧台から神戸市市街地を見る大パノラマが好きで、またよくも復興したと、復興に努力された市民及び事業者の皆様のご努力に頭の下がる思いで、感謝の思いで一杯であります。

神戸市の財政もようやく回復し、平成 28 年度は「輝ける未来創造都市」の実現を目指して、新たなビジョンや都市創生戦略に基づいて新たな投資等を進めてまいります。特に三宮の再整備や神戸市内全域でバランス良く投資を考えていますので、いろんな局面で皆様のご協力、ご理解をお願いしたい。

公共建築物建設関連では予算ベースで 316 件 317 億円を確保、途切れのない発注、地元優先、受注機会の拡大を目指しながら頑張っていきたい。皆様のご協力をよろしくお願いします。

最後に会員皆様の益々のご発展とご健康をお祈りして私の挨拶に代えさせていただきます。



井垣部長

平成28年度役員等一覧表

| 区 分 | 氏 名 | 所 属 | 所 属 |
|---------|------------|-----------------------|---------|
| 名誉顧問 | 竹 村 章 | (一社)兵庫県建築会 | 元会長 |
| | 太 田 敏 郎 | (株)ノーリツ | 名誉会長 |
| | 北 浪 邦 夫 | (一社)兵庫県建築会 | 元会長 |
| 顧 問 | ※ 小 南 正 雄 | 兵庫県県土整備部 | まちづくり部長 |
| | 井 垣 昭 人 | 神戸市住宅都市局建築技術部 | 部長 |
| | 小 林 利 裕 | (公財)兵庫県住宅建築総合センター | 理事長 |
| | 川 嶋 実 | (一社)兵庫県建設業協会 | 会長 |
| | 高 橋 伸 明 | (公社)兵庫県建築士会 | 会長 |
| | 山 本 康一郎 | (一社)兵庫県建築士事務所協会 | 会長 |
| | ※ 山 本 亮 三 | (公財)兵庫県芸術文化協会 | 理事長 |
| ※ 棚 田 肇 | (一社)兵庫県建築会 | 前副会長 | |
| 会 長 | ◎ 瀬戸本 淳 | (株)瀬戸本淳建築研究室 | 会長 |
| 副 会 長 | ◎ 石 田 邦 夫 | (株)黒田建築設計事務所 | 会長 |
| | ※ 大 町 勝 | 兵庫県住宅供給公社 | 理事長 |
| | ※ 大 木 弘 恵 | (株)大木工務店 | 代表取締役社長 |
| 専務理事 | 谷 純 夫 | (一社)兵庫県建築会 | 専務理事 |
| 理 事 | 岡 澄 彦 | (株)岡工務店 | 専務取締役 |
| | 山 本 康一郎 | (株)山本設計 | 代表取締役社長 |
| | 平 井 保 夫 | 大阪ガス(株)法人第2営業部兵庫営業チーム | リーダー |
| | ※ 和 田 好 勝 | (株)明和工務店 | 代表取締役社長 |
| | ※ 北 浪 孝 一 | 丸正建設(株) | 代表取締役社長 |
| | ※ 矢 間 照 人 | (株)新井組神戸支店 | 営業部長 |
| | ※ 河 野 潤 也 | 兵庫新装サッシ(株) | 代表取締役社長 |
| 監 事 | 石 田 恭 一 | (一社)兵庫県建設業協会 | 専務理事 |
| | ※ 立 花 充 | (株)ノバック | 代表取締役社長 |
| 参 与 | 渡 邊 勝 幸 | (一社)兵庫県建築会 | 元副会長 |
| | ※ 川 端 宏 幸 | (一社)兵庫県建築会 | 前副会長 |
| | ※ 木 村 光 利 | (一社)兵庫県建築会 | 前顧問 |
| 幹 事 | 勝 野 聡一郎 | (一社)兵庫県産業廃棄物教会 | 常務理事 |
| | 西 内 茂 高 | (株)ノーリツ 兵庫支店 | 支店長 |
| | 田 中 忍 | 新装工業(株) | 代表取締役社長 |
| | 小 寺 泰 雄 | 淡路土建(株) | 企画部長 |
| | 瀬 尾 武 夫 | (株)宮本設計 | 代表取締役所長 |
| | 前 川 真一郎 | (株)前川建設 | 専務取締役 |
| | ※ 本 井 敏 雄 | (株)柄谷工務店 | 専務執行役員 |
| | ※ 宮 崎 健 一 | 宮崎建設(株) | 取締役 |
| | ※ 池 内 修 | (株)池内工務店 | 代表取締役 |
| | ※ 谷 口 正 樹 | (株)家根源 | 代表取締役 |

◎は代表理事、※は新任



◀ 乾杯（衣笠局長）

交流会の始まり▶
会場風景



▲ テーブル 松



▲ 交流会風景



▲ テーブル 梅



▲ テーブル 緑



▲ テーブル 福



▲ テーブル 雪



▲ 交流会風景 テーブル 花



▲ 交流会風景 テーブル 壽



▲ テーブル 月



▲ テーブル 桐



▲交流会お開きの一本締め（大町副会長）

お知らせ

◎行事ご案内

① 第448回月例会

テーマ：1 兵庫県の住宅・建築関係の主要施策
2 国営明石海峡公園 新しいステージの開幕～海峡を越えて橋が繋ぐ公園

講師：1 兵庫県県土整備部住宅建築局長 福本 豊氏
2 国営明石海峡公園管理センター長 橋 俊光氏

日程：平成28年6月16日（木）
12:00～14:00

会場：西村屋和味旬彩

② 第152回研修交流会

日時：平成28年6月23日（木）
スタート 9:03～4組

会場：城山ゴルフ倶楽部

③ 第449回月例会

テーマ：横溝正史と神戸

講師：うみねこ堂店主 野村恒彦氏

日程：平成28年7月14日（木）
12:00～14:00

会場：神戸三宮東急REIホテル

①～③をご案内中です。

④ 第450回月例会

テーマ：ご存知ですか？介護現場の今！

講師：（社福）きらく園事務長 高橋守雄氏

日程：平成28年9月8日（木）12:00～

会場：神戸三宮東急REIホテル

7月下旬頃のご案内です。

◎ 事務局便り

総会、交流会は近年にない多くの会員、ご来賓にご出席をいただき、会場は溢れんばかりとなりました。ありがとうございました。70周年記念式展に弾みがついたと大変うれしく思っています。

ほっとする間もなくその準備となりますが、まずは10月の記念講演会です。会場の兵庫県公館は、若い頃に携わった施設で、その重厚な造り、調度品は記念講演に相応しい舞台と言えます。公館やその周辺に設置された彫刻には思い出があり、県庁2号館前庭オアシス～プロムナード～公館の今の景観となったのは、彫刻の設置場所をどうするかが起因となりました。以前はオアシスとプロムナードの間は、黒い鉄柵が庁舎をガードしていましたが、知事から鉄柵の撤去を前提に検討指示があり、実行しました。彫刻が庁舎周辺の景観を一変させました。

事務局 : 谷 純夫、石井滝実子
電話 : 078-996-2851
FAX : 078-996-2852
Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp

兵庫県建築会の皆様へ

住まいの備え・大丈夫？

◆迫る・南海トラフ地震

30年以内の発生確率70%
県内の住宅被害・全半壊21.5万棟
阪神・淡路大震災に耐えた家、
実は危ない!?

巨大化する
台風

近づく
大地震

増える
ゲリラ豪雨

◆頻発する水害・土砂災害!

平成16年からの11年間で2万棟!

兵庫県が提供する「住まい再建のしくみ」

フェニックス共済

あらゆる自然災害の“もしも”に備えます

住宅をお持ちの方

住宅再建共済制度

年額5,000円で
最大600万円給付

一部損壊特約

年額500円で
補修時等、
25万円給付!

住宅にお住まいの方

家財再建共済制度

年額1,500円で
最大50万円給付

フェニックス共済



兵庫県住宅再建共済制度

公益財団法人
兵庫県住宅再建共済基金
(コールセンター)
☎078-362-9400
(平日 9:00~17:00)

制度創設10周年



フェニックス共済 検索

申込書付きパンフレットは、郵便局や県民局、県民センターなどに
ございます